

Go to the Next 

30<sup>th</sup> 

— SINCE 1990 —

Thank You  Everyone!

ゆうしゃいん



You Shine

— あなたが輝けば私も輝く —



ゆうしゃいんは  
あなたが輝くところ

笑顔があふれるところ  
いのち輝くところ

「あなたが輝けば 私も輝く」

相手を思いやることで笑顔があふれ、  
わたしとあなたのいのちが輝く

Thanks ALL

30th!



笑顔あふれる施設をめざし30年。

これからもみなさんのいのち輝く場所でありつづけたい。

私たちの事業は子どもからお年寄りまで、障害の有無に関わらず、全ての人が自在に利用できる「小規模・多機能・柔軟対応」を目指す福祉拠点です。出会いからすでにサービスが始まっています。そして、“お帰りなさい”とほほえみかけます。“またね”と決して言いません。

「安全」「安心」「安定」「安楽」「安逝」を法人の理念として掲げ、役職員・利用者共々「誇り」の持てる福祉＝幸せ（支合わせ）の実現に向け鋭意努力していきます。

理事長 熊原 保





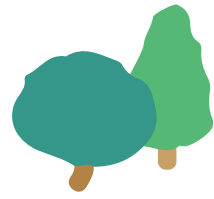
# You Shine

ゆうしゃいん

## contents 目次

- 6 ゆうしゃいんグループ MAP
- 8 ゆうしゃいんのあゆみ
- 10 理事長インタビュー
- 12 TURNING POINT 1
- 14 TURNING POINT 2
- 16 おしえて先輩!
- 18 「ゆうしゃいん」のここが好き!
- 20 未来のゆうしゃいん
- 21 優輝福社会の取り組み
- 24 先輩スタッフにインタビューしました!
- 26 ユーイズム語録

# ゆうしゃいん / グループMAP



障害者グループホーム  
小規模多機能型居宅介護事業所  
**14 横山旅館**  
庄原市中本町1-5-2  
☎0824-72-1177

障害者多機能型事業所  
**13 里山福業**  
協働作業所  
**13 コアハウス**  
庄原市宮内町6393  
☎0824-72-1233

地域共生型福祉施設  
小規模多機能型居宅介護事業所  
**12 ゆうしゃいん庄原**  
庄原市宮内町美湯6353-1  
☎0824-75-0310



ユニバーサルケア  
**11 みとう温泉**  
庄原市宮内町美湯6353-2  
☎0824-75-0310



高齢者福祉総合センター  
**10 ユーシャイン**  
トータルケアホーム  
**10 ゆう愛**  
**10 レミニセンス夢亭**  
庄原市総領町中領家476  
☎0824-88-3000

障害者支援施設  
地域生活支援拠点  
**9 ともいきの里**  
相談支援事業者  
**9 ゆうき相談所**  
庄原市総領町稲草77  
☎0824-88-3123



小規模多機能型居宅介護事業所  
**8 藤原別荘**  
三次市甲奴町西野85  
☎0847-67-3310



軽費老人ホーム デイサービスセンター  
**7 ケアハウス吉舎**  
定期巡回 随時対応型訪問介護看護事業所  
**7 ゆうしゃいん**  
**7 ゆうしゃいん訪問介護ステーション**  
三次市 吉舎町吉舎606 ☎0824-43-3110

グループホーム  
**6 みら屋**  
小規模多機能型居宅介護事業所  
**6 三良坂**  
三次市三良坂町三良坂1789-2  
☎0824-44-3008



障害者グループホーム  
**1 ゆうしゃいん笑花**  
三次市十日市東5-13-10

就労継続支援B型事業所  
障害者グループホーム  
小規模多機能型居宅介護事業所  
**2 ゆうしゃいん三次**  
三次市島敷町238  
☎0824-68-0344

小規模多機能型居宅介護事業所  
**3 ゆうしゃいん塩町**  
三次市塩町2112-4  
☎0824-66-6040

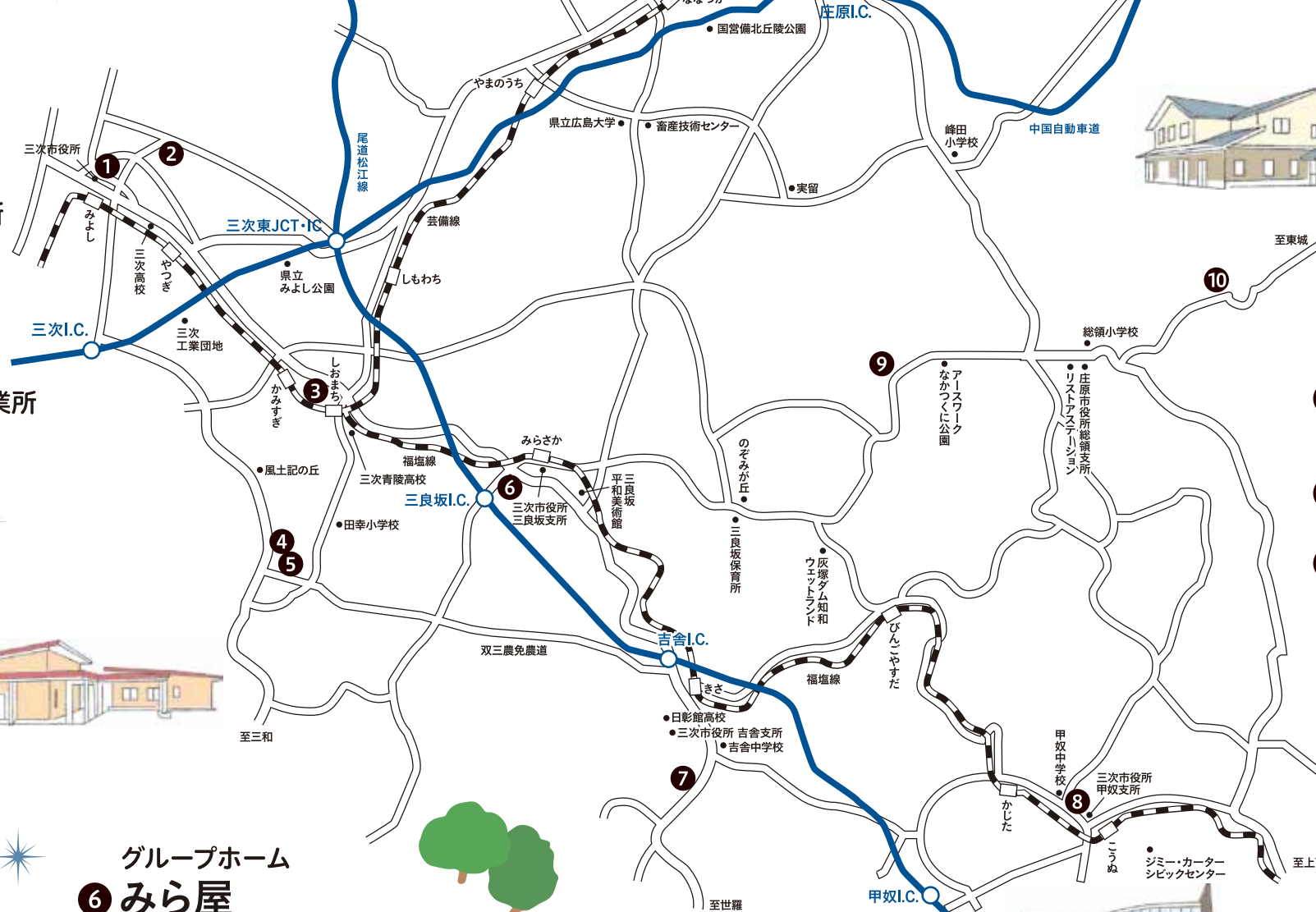
障害者グループホーム  
相談支援事業者  
地域生活支援拠点  
**4 ゆうしゃいん CCM**  
三次市大田幸町10388-7  
☎0824-66-3555



共生型多機能型事業所  
障害者グループホーム  
**5 コージーガーデン**  
三次市大田幸町10266-4  
☎0824-66-2611



まちなか広場・歓交地  
**15 三軒茶屋**  
庄原市中本町1-2-11  
☎0824-72-2037





（今も昔も輝き続ける）

# ゆうしゃいんのあゆみ



子どもからお年寄りまで、障害の有無にかかわらず  
すべての人が自在に利用できる  
「小規模・多機能・柔軟対応」ソフトケアをめざして



2000

4月 身体障害者療護施設ともいきの里開所  
(施設入所支援・短期入所事業・生活介護)

2002

4月 特養ユーシャインユニット 20床増床

2003

4月 認知症対応型共同生活介護事業所  
グループホームみら屋開所

2005

4月 ユニバーサルケアみとう温泉開所  
(通所介護事業所・身体障害者デイサービス事業・  
ユニバーサルリビング喫茶ヴァンヴェール)

9月 地域生活支援ケアハウス吉舎開所  
(特定施設入居者生活介護・軽費老人ホーム・  
短期入所生活介護事業所・通所介護事業所)

2006

3月 通所介護事業所 藤原別荘開所  
※2007年 終了

6月 小規模多機能型居宅介護事業所  
横山旅館開所

10月 障害者多機能型事業所 みとう温泉開所  
(生活介護・就労継続支援 B 型事業所)

10月

障害者訪問介護事業所ユーシャイン開所  
(居宅介護・行動援護・同行援護・  
重度訪問介護・移動支援)

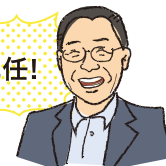
2007

2月

通所介護事業所藤原別荘廃止  
小規模多機能型居宅介護事業所藤原別荘開所

2007 4月

熊原 保 理事長 就任!



2008

4月

小規模多機能型居宅介護事業所 三良坂開所  
共同生活介護事業所 横山旅館開所

2009

1月

小規模多機能型居宅介護事業所  
ゆうしゃいん三次開所

2月

障害者多機能型事業所 ゆうしゃいん三次開所  
(就労継続支援 B 型・就労移行支援・共同生活援助事業所)

4月

笑花開所  
(就労継続支援 B 型事業所ゆうしゃいん三次)

4月

相談支援事業者ゆうき相談所開所

2010

4月

小規模多機能型居宅介護事業所  
ゆうしゃいん塩町開所



2011

4月

地域共生型福祉施設 ゆうしゃいん庄原開所  
(地域密着型小規模特別養護老人ホーム・  
小規模多機能型居宅介護事業所・共同生活援助事業所・  
福祉ホーム・ユニバーサルホーム)

5月

みず幸場 開設  
(就労継続支援 B 型事業所みとう温泉従たる事業所)

11月

児童デイサービス事業所ゆうしゃいん三次開所  
※2021年 修了

2012 1月

・就労継続支援B型事業所  
コージーガーデン開所  
・相談支援事業者  
ゆうしゃいん開所



3月

短期入所生活介護事業所ゆうしゃいん庄原開所

4月

事業所内保育施設こどもの家のこのこのっこ開所

2013

5月

定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所 ゆうしゃいん開所  
共同生活援助事業所 ゆうしゃいん笑花 開所

2014

9月

通所介護事業所  
コージーガーデンワークスクール開所

2015

11月

ゆうしゃいん訪問看護ステーション開所

2016

6月

障害者多機能型事業所 里山福業開所  
(2017年6月コアハウスへ移設)  
(就労継続支援A型事業所・就労継続支援B型事業所)  
通所介護事業所コージーガーデン単独設置  
居宅介護支援事業所ゆうしゃいん開所

2017

5月

YCCモータース開所  
(就労継続支援B型事業所ゆうしゃいん三次従たる事業所)

7月

共同生活援助事業所  
コージーガーデン開所

2018

11月

障害者多機能型事業所 コージーガーデン開所  
(共生型生活介護・就労移行支援(2020年5月～))

2019

7月

トマト幸場開所(三次市委託)  
(就労継続支援 B 型事業所コージーガーデン)

2020

6月

ゆうしゃいん CCM 開所  
(短期入所事業所・日中サービス支援型共同生活援助事業所)  
三次市地域生活支援拠点として指定(2021.4月)



まだまだ  
歴史は続く...



1990 12月  
法人設立

1991

8月

高齢者福祉総合センターユーシャイン開所  
(特別養護老人ホーム・短期入所生活介護事業所・  
通所介護事業所・訪問介護事業所)

1992 在宅介護支援センター開所

1993 ユーシャイン配食サービス開始



1994 11月  
まあるくなあれ  
出版!

「まあるくなあれ」は、まちづくり型福祉をめざす  
ユーシャインの実践として、  
平成6年11月に刊行された書籍です。  
その表紙を飾っているのが、ユーシャインの未来に向けて目指していく目  
標を図解にした、「ユーシャイン21プラン」です。「あなたが輝けば、わたし  
も輝く」のユーイズムのもと、平成3年8月1日に、高齢者福祉総合支援セ  
ンター ユーシャインを法人最初の施設として開所。平成から、令和の時代  
となり、ユーシャイン開所以来30年が経ち、子どもから高齢者、障害者ま  
で多くの施設を立ち上げ、ユーシャイン21プランは、現在も法人の実践と  
して、着実に継続されています。

2004 4月  
地域でねばる  
出版!



1995

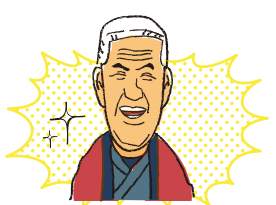
4月

夢亭(夢がたりの家)開所

1996

5月

永六輔参上



1997

6月

トータルケアホームゆう愛(庄原市委託)開所



## 福祉をまちづくりの拠点に。 まちのような老人ホームをめざして

1990年の設立から32年を迎えたゆうしゃいん。  
様々な紆余曲折を経て、ここまでやってきました。  
これまでの歴史を振り返りながら、ともに歩んできた理事長に  
福祉への想い、そしてゆうしゃいんが目指す姿について、お伺いしました。



### 親友のバイク事故が、 人生の転機に

**私**が福祉の道を志すことになったきっかけは、命を先立った友人です。彼はかけがえない親友であり、よきライバルでした。高校3年生の時、オートバイの飛ばし競争で横転し、全身麻痺で寝たきりになってしまいました。私は何度も見舞いに行きましたが、黙ったままの彼に名前を呼び続けることしかできなかった。その傍らで決心したのです。「高校を卒業したら、重度障害者を支える施設で働こう。そして、稼いだお金で、眠り続ける親友を一生世話していこう」と。  
ところが、働きたいと思った施設から「今は専門の教育を受けていないと採用できない」と言われてしまい、そこから猛勉強の日々が始まりました。そして、なんとか駒澤大学の社会福祉専攻学科に合格。「卒業したらアイツの世話をするんだ」と、ただそればかりを

考えて、あっという間の4年間で過ぎました。それなのに、再度尋ねてみると「今は職員の採用をしていない」というまさかの展開。さらに友人は、私が卒業するのを待たずに亡くなりました。行く先をなくした私は、まるで抜け殻ようになってふるさとへ帰りました。それからしばらくして、隣町にあった養護老人ホームから声をかけてもらったのです。そこで、高齢者福祉にたずさわることになりました。

### 福祉は小さく。 一人ひとりに幸せを

**当**時の老人ホームといえば、規模の大きい施設ばかりでした。カーテン一枚で仕切られた大部屋にプライバシーはなく、利用者一人ひとりの状況や気持ちに寄り添うとは言い難い施設に、誰も進んで入ろうとは思わない、そんな時代でした。施設は自宅に限りなく近く、小規模である

べきだ、と葛藤する日々でした。規模が小さければ、一人ひとりの要望にきめ細やかなサービスで対応できる。過疎の進むこの街には、施設を開くのにびったりな空き家もある。それならなおさら小さく、柔軟な対応ができる福祉の基盤を整えていくことが、このまちに暮らす人を支えることになるのだと。  
高齢者施設の生活指導員を15年間勤めた後、1990年に総領福祉会(現:優輝福祉会)の所長になりました。過疎と高齢化が進む総領町なら、高齢者が主役になるまちづくり「シルバーポリス構想」がきつと実現する。そう確信して、まちづくり型福祉を実践してきました。それは、援助を必要とするすべての人を対象として、一人ひとりが幸せになれる福祉です。好きな時に、好きなものを、好きな人と楽しむことができる。それはつまり、人と人の距離が近い、小さな福祉だからできること。そして、たくさんの機能を持ち、柔軟対応

ができる福祉だからこそ。30年経った今も、その思いは変わっていません。

### 「福祉」という名の 「まちづくり」

**老**人ホームはもう必要ない。そう言える社会になることが私の理想です。  
どれだけ快適な施設でも、ほとんどの人は自宅に帰りたくなるものです。だから、「施設のようなまち、まちのような施設」を作ることの大事にしてみました。目的は、施設を作り運営することではなく、その役割を地域やそこに暮らす人が助け合いながら担えるまちづくりをしていくこと。例えば、老人ホームの居室は、住み慣れた自宅に。ナースコールが必要な時は、緊急通報を。施設の介護職員さんは、いつでも駆けつけてくれるホームヘルパーさん。そんなふうに、老人ホームがなくても困った人を支える仕組みを築いていく。そうすれば、どんな人も共生で

きるまちになるはず。あなたが輝けば、わたしも輝く」という理念のもと、私たちの取り組みは、働く場の創出、地域交流の活性化やコミュニティづくりにも発展しています。レストランの運営、農産物の販売、それから地域通貨「結貨」の発行も。いまでは同じ地域に暮らす人々との関係づくり、絆を結ぶ役割を果たす福祉拠点です。  
ゆうしゃいんの未来図は、常に新しい福祉社会を目指しています。根っこにあるのは、この備北に暮らすすべての人の幸せ。これからまだまだ挑戦は続きます。



理事長の熊原さん。福祉への想いを熱く語ってくれました。





TURNING POINT  
1

## 政争に巻き込まれたゆうしゃいん。 不遇の時期も地域のために歩み続ける。

—1994—  
寄付金事件

事件の発端は、総領町の特別養護老人ホーム「ユーシャイン」の入居者から寄付を受けたことだった。寄付者の名前は明かさずにほしいというお願いがあったことから、当時所長だった熊原さんは、寄付金は社会福祉法人の会計に計上せず、「社会福祉法人総領福祉会」の名義で預金した。その後、総領町が掲げる福祉のまちづくり計画「ユーシャイン21プラン」を進めていく上で新たな土地を取得するために、預かった寄付金を活用しようと考えた。ところが、農地は、社会福祉法人が購入することはできない。そこで、役員会が開かれ、熊原さんの個人名義で取得することもやむを得ないと、意見はまとめられた。さらに、行政、町議会、理事たちとも会議を重ね、熊原さんが土地を購入するという結論になったのだった。

ところが、寄付金に関する記録が議事録に一切残されていなかったことから、不正流用が疑われるという事件に発展。熊原さんは、責任を負う形で辞職に追い込まれることになった。リーダーを失

いながらも、熊原さんの意志を受け継ぐ職員たちは、ユーシャインを守っていった。一方、熊原さんは、口和町(現:庄原市)の社会福祉協議会や音戸町(現:呉市)の町立保健福祉総合センターの立ち上げ、さらに奈良県十津川村の特別養護老人ホームの施設長など、各地で手腕を発揮していた。事件が大きく動いたのは、介護保険が始まり経営が赤字化してい

き、辞職から2年後。総領福祉会は、身体障害者療養施設の開設に向け本格的に動き出していた。職員たちは、よろこばしい反面、ことさら身障者の福祉に情熱を傾けていた熊原さんの不在を悔しんだ。復職を願う声は日に日に増し、熊原さんを動かした。そして再び手を携えていくことになったのだった。



「今の優輝福祉会があるのは、当時の職員が声を上げてくれたおかげ。本当に感謝してもきれないです」と語る熊原理事長。

—1997—  
まちづくりを目指し  
共生型ホーム開所

法人設立から7年。日本で初めて、年齢、障害の有無・種別を問わず、誰もが居住できるグループホーム「トータルホームケアゆう愛」を開設した。もともと高齢者福祉にとどまらず、障害者も含めて「誰もが共生できる社会」を目指してきたからこそ、このホームの存在意義は法人としても、地域にとっても大きな財産となった。施設の規模は、全6棟。現理事長の熊原さんが所長として在職していた頃、強く訴えていた「福祉の小規模化」が映し出された、小

さなコミュニティ。リーダー不在の中で開設の日を迎えたことは、その精神が職員らに確かに受け継がれていた証だ。各棟にはそれぞれ玄関があり、付かず離れずの距離感が居心地の良さを生み出している。様々な年齢の人がそれぞれの暮らしを思い思いにおくる様子は、地域社会の関わりの中でつながりながら、誰もが自分らしく生きている普通の暮らしそのもの。さまざまな理由で生活することに困る人と地域をつなぐ役割を果たしている。



子どもからお年寄りまで、障害の有無にかかわらず、全ての人が自立できる共生型社会を目指す。

—1994—  
小規模多機能型  
居宅介護事業開所

庄原市で長年愛され、地域のシンボルとなっていた老舗旅館「横山旅館」。その建物を再生し、小規模多機能型居宅介護事業所を2006年に開設した。要介護者の様態や希望に応じて、「通い」「泊り」「訪問」のいずれのサービスも利用することができるこの事業所は、一人ひとりにあった福祉サービスに取り組んできた「ユーシャイン」の理念をすべて結集させた主要拠点といっても過言ではない。「小規模、多機能、柔軟対応」のソフトケアにこだわり、誰もが共生できる社会の必要性を強く訴えてきた熊

原さんの思いが、またひとつカタチになったことで、理想とする「まちづくり福祉」により一層拍車がかかることになった。



地元住民のなじみ深い場所をそのまま生かしたいという思いから、名称もそのまま受け継いだ。多くの人の思い出が詰まった場所が、現在は地域を支える福祉拠点として親しまれている。





## コロナ禍による混乱や風評被害を受ける中、利用者や地域のため、懸命に生活サポートを続ける。



### 新型コロナウイルス

2020年3月上旬、広島県内で初めて新型コロナウイルスの感染が確認された。各事業所では、例年通りのインフルエンザ対策と同様、予防接種や手指の消毒・手洗い、面会の一部中止などを行っていた。ところが、三次市内にある介護事業所でクラスターが発生。感染者が出ていない事業所も含めてほとんどを自主的に休業・サービスを縮小することになった。

各事業所は、利用者の状況を確認するため、ご本人やご家族への電話による聞き取りを実施。外出を控えることで身体能力の低下や認知症が進むことを危惧する声が多く上がっていた。そこで、感染対策を徹底した代替サービスを開始することに。希望者のみに限定し、送迎は一人ずつ、まずは入浴から。その後、段階的に内容を増やしなが、少人数でのリハビリも行うようにした。リハビリは、一旦休んでしまうと回復までに3倍の時間がかかるとも言われているため、再開は、利用者とそのご家族の安心につながった。

感染対策としては、「新しい生活様

式」に基づいて、職員や利用者とはもとより、面会のご家族、取引先の業者にもマスクの着用や手指の消毒を徹底。健康チェックも実施する。職員には月1回の抗原検査を実施。法人独自で危険地域を設定し、面会や業者の出入りなどの来客管理も行っている。ほかにも、送迎車の運転席の後ろには飛沫防止シートを設置するなど、様々な対策を講

じている。介護を行えない状況に陥り、より一層その必要性を再確認することになった職員たち。「ふれ愛・助け愛・支え愛。今こそこの三つの愛が大事。きちんと感染対策をして、いつも通りのサービスを」という理事長の思いのもと、知恵を出し合いながらこの困難を乗り越えようとしている。



「コロナウイルスも地域が丸となって乗り切れないといけない、ここでも地域力が重要になってくる」と熊原さんは言う



### ゆうしゃいんCCM開所

コロナ禍の混乱の中、2020年7月に開所した「ゆうしゃいんCCM」。「ケアリング・コミュニティ・マネジメント」の略である“CCM”が付けられたこの施設には、地域全体で障害者を支えるまちづくりをマネジメントしていく一翼を担おうとの思いが込められている。

ここでは、グループホーム、ショートステイ、相談支援事業所の3つの機能で、障害者の生活をサポートする。なかでもグループホームは、24時間体制で生活をサポートする「日中サービス支援型」として、広島県備北地域では初の開所となった。重度の障害者も地域で生活できる手厚いサービスをはじめ、医療面で一層安心してもらえるように看護職員を配置しているのが大きな特徴だ。

開所の背景には、重度の障害者や

高齢の障害者の生活を24時間体制でサポートする「日中サービス支援型」のグループホームや、障害者の重度化・高齢化や、親の亡き後を見据えて地域で支える仕組みを作る「地域生活支援拠点」の必要性が迫っていることにある。障害者を子に持つ親のサポートをできる場所を作ることが、地域に求められていることを痛感してのことだった。

さらに障害者の生活介護を一体的に提供する共生型の通所施設「コージーガーデン」も隣接している。レストランやパン工房、トマト畑もあり、地域一帯で福祉を必要とする人々を支える取り組みが実践され、根付いている。今後は、施設内に交流スペースを設けて地域サロンとして活用したり、障害者への理解を深める学習会を開催するなど、地域と施設と

利用者をつなぐ様々な取り組みも予定している。障害の程度に関係なく共生できるまちづくりを進めながら、施設がその地域の拠り所となることを目指している。



障害者就労継続支援B型の利用者が栽培しているトマト「あかまるこ」はコージーガーデンで注文できる。





# おしえて先輩!

## Q&A

いつも事業所で聞いているけど詳しく聞くことがなかった気になるあの言葉やあのコト。ベテランケアマネジャーに直接聞いてみました!

**Q** ケアマネジャーの一番の魅力ってなんですか?

**A** こんなしんどい仕事もないですが(笑)こんな楽しい仕事はないと思います。

利用者やそのご家族との繋がりを感じながら、一緒にサービスを作り、生活を整えていきます。やればやっただけの結果が出るわけではないですが、それぞれ同じ方向をむいて、それぞれに合わせてプランを考える…。毎日が新鮮で、すごくやりがいのある仕事だと思います。

**Q** 現在特養で働いていますが、看取りが辛いです。

**A** 看取りのとらえ方を少し変えてみるといいのではないのでしょうか。

今まで一緒にいた人が亡くなってしまふことはもちろん悲しいですし、もっと何かできたんじゃないかと思うことはあります。でも、最期の時まで一緒に過ごせた、そして「よく頑張ったね」とご家族と見送ることができる。それってすごく尊いことなんです。私は特養もケアマネも経験していますが、逆にケアマネだと看取ることはありません。他界された報告を突如受けることになるのです。そういう意味では『さようなら』の時間はとても貴重。その瞬間を大切にしてほしいと思います。

**Q** 入社2年目です。私たちのような若手はどのように見えていますか?

**A** 一生懸命やっていることは十分に伝わってきています。

その反面いっぱいになりすぎて無理してるんじゃないかな、と心配になるときもあります。もっと話を聞いてあげたいと思っているのですが、なかなかそういう時間を取ることもできなくてもどかしいです…。悩みや疑問に対して、できる部分は改善したいし、それぞれの施設で様々な仕事があるので、適材適所、個々の個性に合わせてジョブローテーションもできると思います。辛いことがあれば、遠慮せず素直に相談してくださいね。

**Q** 何でこんなにもいろいろな施設を増やすのでしょうか?

**A** 理事長は経営者として、私たちより、ずっと先をみていらっしゃいます。みんなそのスピードになんとか追いつこうと働いています。理事長は、時代の変化に合わせて必要な施設を創られています。それに遅れを取らないように職員のスキルも上がっていかねばなりません。臨機応変に対応し、一人ひとりが足りない部分を補いあえる職員育成と、それを地域にも広げていきたいという思いがあるのではないかと私は感じています。

理事長はいろいろな展開がすごく早いんです。私たちがいる現時点より、先をみていらっしゃる。



入社19年目 沼田 恵さん

入社31年目 村川 浩子さん

入社15年目 益田 恭子さん

入社24年目 永谷 聖子さん

**Q** あの頃は若かったと思うエピソードはありますか?

**A** 実は当時所長だった熊原理事長に文句を言ったことがあります。

“天ぶら事件”というのがあったのですが、私が厨房で働いていた時、当時所長だった熊原理事長に「冷たい!」と言われたんです。1人分5品ある天ぶらを入所者、デイサービス、職員の分を全部揚げようと思ったら冷たくなるじゃないですか。なので、「所長は天ぶら揚げたことありますか?」と少し反抗してしまったんです。そしたら逆に所長に「あなたは私がここで天ぶらを揚げたら気が済むんですか?」と言われ、すごく腹が立ちました(笑)。当時熊原理事長が「冷たい!」という言葉の意図が、天ぶらを温かくする方法を考えていこうじゃないかという意味だったと分かったのは、約数十年経ってケアマネになってからでした。先輩スタッフや利用者が発した言葉の意図を理解することはとても重要です。

**Q** これまで働いてきて印象的なエピソードを教えてください。

**A** レクリエーションをきっかけに周りとうちとけられた利用者がいました。

入所当初、覇気がなく寝たきりのデイサービス利用者がいました。食事と一緒に摂られない日が続いたのですが、ある日レクリエーションをしていたら、その方が「私もやりたい!」と参加されました。そこから性格がまるで変わり、他の利用者とも普通にコミュニケーションをとられるようになりました。「みんなが声かけてくれたり、優しくしてくれたけえ、以前のようにね、普通の生活ができるようになった」と感謝頂き、スタッフ一同、何かできることがないか必死に考えていたこともあり、みんなで喜びましたし、すごく勇気をもらいました。





未来への伝言

「ゆうしゃいん」の

ここが好き!

そして、もっともっと輝く  
次の30年へ!

それぞれの施設、それぞれの立場で  
奮闘している職員みなさんに  
現在の「ゆうしゃいん」と、  
未来への期待や経験を  
語っていただきました。



後、の形がある  
と思うので、  
これまでやって  
きたことを  
背伸びするこ  
となくコツコ  
ツやっていき  
たいなと思  
いがあります。

**熊原** 30年後のことはわかりませんが、  
が、こつやって大きくなったのは、利用  
者の困ったことや地域の課題に真正面  
からスピード感をもって対応してきた  
からだと思います。今困っている人、地  
域の課題に向き合っていくことで、30年

野望はありますか?  
**三宅** 30年ってちょっと難しいですが、ま  
ずは毎日の食事から良くなっていきたく  
いです。コロナで外出ができなくなると、  
日々の食事がすごく楽しみなこと、ひ  
とつだと思えます。食べていくことはお  
そらく死ぬまでつづくことですが、死ぬ  
直前まで、利用者それぞれ普通の食事  
が食べられる方がかりじゃないです。そ  
の人に合ったベストな最新の食事とい  
うか、ここに入って良かったなと思っ  
て頂けるような、そんな食事作りを心か  
けて、明日からも頑張ろうかなって思っ  
ています。

30年後の  
野望はありますか?

**丹波** 私は管理栄養士ですが、利用者  
の声を聞いて、磨にちなんだ給食を提供  
したりしています。また、ゆうしゃいん  
ならではの『くまこめ』の取り組みで  
は、地域のみなさんに、食文化や郷土料  
理を習って、若い人達がそれを献立に活  
かしています。食の伝統をつなぐこと  
って素敵ですよ。

**増原** CCMができて今年で2年目  
です。できたばかりで、地域の人は「あ

身近な夢は何ですか?

**丹波** そう!  
働き方がフ  
リースタイル  
り、やりたい  
て思うことを  
やらせてもら  
えています。社内行事やルーチン業務の  
改善も、堅苦しく提案して決済に時間  
がかかるなどはなく、上司に話してみ  
て、割とすぐに、「やってみたら?」と言  
ってもらえます。

**三宅** 私は管理栄養士ですが、利用者  
の声を聞いて、磨にちなんだ給食を提供  
したりしています。また、ゆうしゃいん  
ならではの『くまこめ』の取り組みで  
は、地域のみなさんに、食文化や郷土料  
理を習って、若い人達がそれを献立に活  
かしています。食の伝統をつなぐこと  
って素敵ですよ。

**牧原** 働き  
方が自由!!  
働き方がフ  
リースタイル  
(笑)!

**丹波** そう!  
働き方がフ  
リースタイル  
り、やりたい  
て思うことを  
やらせてもら  
えています。社内行事やルーチン業務の  
改善も、堅苦しく提案して決済に時間  
がかかるなどはなく、上司に話してみ  
て、割とすぐに、「やってみたら?」と言  
てもらえます。

**増原** みんなが言う通り、やりたいことをやらせてもらっています。社内行事やルーチン業務の改善も、堅苦しく提案して決済に時間がかかるなどはなく、上司に話してみても、割とすぐに、「やってみたら?」と言われてもらえます。

ゆうしゃいんの良いところ  
とはどんなところですか?



そこ何?という感じで、まだまだし  
かりと周知してもらっていないと思  
います。この先、時間をかけてでも、イベン  
トなどを通じて、地域のみなさんに少しでも  
知ってもらいたいと思います。ご近所付  
き合いのような関係を目指したいです。

**牧原** サービスの利用者としてではな  
くて、地域の人として接して欲しいと  
私も思います。

**丹波** コージーガーデンに来てまだ  
3年目ですが、はじめは利用者が2名  
でした。今は18名で、一緒に同じ建物内  
で高齢者も障害者も生活されていま  
す。共生型は、最初は不安がすごくあ  
りました。ですが、飲食をともにして一  
緒に生活する中で、少しずつ互いが理  
解されています。「おはよう」とか、「〇  
〇ちゃん元気だね」とか声を掛けてく  
れることがすごく増えました。それを  
日に日に実感という  
か、共生型としてとて  
も良いところだなと思  
います。今は、利用者が  
増えて手狭に感じるの  
で、快適に過ごせる場  
所というものを考えら  
れたら良いのかなと  
思っています。



例えば、体を動かしたい方が多いので、  
トランポリンやブランコ、雨の日でも遊  
べる室内遊具があるスペースなどがで  
ければ!と夢を抱いております(笑)。

**牧原** 私は、利用者が本宅の自宅のよ  
うに感じ、終末を迎えられる事業所であ  
りたいという思いがあります。

**熊原** グループホームでは高齢者、障  
害者を持つている高齢者の方がいますが、  
障害者のグループホームで看取り介護  
というのは全国的にまだ例がありません。  
当法人は高齢者も障害者も看取った  
経験をもつ職員が多くいます。なので、  
あまり他の法人ではできないような住  
み慣れたグループホームで最期を迎え  
ることができ  
ます。そこ  
もメリッ  
トじゃないか  
と思います。



**牧原** 利用  
者が「最期は  
自宅で亡く  
なりたい」な  
どご本人の  
希望を大切  
にしたいで  
す。利用した  
いタイミング  
だけ入所  
できる。出入りがなるべく自由!意を決し  
て入らなくても良い施設というか...。  
働く職員も利用者も一人ひとりの自由  
な想いが形になる事業所や法人を目指  
したいです。



# 「未来のゆうしゃいん」 私達も応援します!

これまで、理事長をはじめ、あらゆる角度から「ゆうしゃいん」を見守ってきてくださった皆様に、御祝いとエールを頂きました!



宮島 渡さん

日本社会事業大学専門職大学院 特任教授  
前アザレアンさなだ総合施設長



栗林 孝得さん

雄勝(おかち)なごみ会  
理事長



公文 裕巳さん

新見公立大学  
学長



渡邊 洋一さん

特定非営利活動法人  
地域福祉研究会pipi理事長

## 2

ゆうしゃいん30周年に向けて、はなむけの言葉をお願いします。

**渡邊** / 30周年おめでとうございます。これからも社会福祉のあり方に対して見識ある姿勢を持って突き進んでください。里山福祉の実践にも期待しています。重要となるのは、包括的な実践と、中山間地域の力(里山資本主義)を都市へ発信すること。その発信力が優輝福祉社会にあります。  
**公文** / ゆうしゃいんの指揮官として、また、自らも現場で志縁者と共にはたらく(傍業)人として共に生きるまちづくり型福祉の構築を目指し、30年間実践されてきたことに敬意を表します。法人設立時のビジョンを変え

ることなく、変わり続ける熊原流ソフト・イノベーションの更なる展開を期待しています。  
**栗林** / 英語にすると「You shine」。あなたは輝いている、という理念でしょうか。私に輝いて見えるのは、「ゆうしゃいん」の皆さまです。その輝きを道標にしますので、今後、大げさに異彩を放ってください(笑)。  
**宮島** / ユニークな実践で法人と過疎を逆手にとって、地域を楽しく盛り上げてください。

## 1

熊原理事長とのご関係について、教えてください。

**渡邊** / 平成26年度に、農水省所管地域における食と農の福祉の連携にかかる事例検討委員会の座長を務めた際、熊原理事長に委員として参加していただきました。その際、共通の友人がいることが分かり親交が深まりました。今では里山福祉の研究と実践を図る同志でもあります。  
**公文** / 熊原氏との親交は、2017年に庄原市で行われた「里山復活祭」で「逆手塾(前過疎を逆手にとる会)」に参加したことがきっかけです。里山人間主義と地域共生社会の構築についての考え方に共感を覚えました。現在は、学長を務める新見公立大学で、熊原氏に客員准教授として教壇に立っていただいています。

**栗林** / 熊原さんは遠くのか神様であり、遠距離友人でしょうか。法人・施設を「家族」とするならば、家族ぐるみのお付き合いと一方的に思っています。  
**宮島** / 1995年から「安心した生活と住みやすい地域をつくる実践会議」のメンバーとして交流が始まりました。

## 3

思い出のエピソードはありますか？

**渡邊** / 私が会長を務める「里山福祉研究会」の第一回を優輝福祉会で開催することができました。「里山資本主義」の著者、藻谷浩介氏や、逆手塾の塾長、故和田芳治氏のご参加もあり、実に多くの治験を得られました。  
**公文** / 2019年6月に開催された地域共生を考えるシンポジウムのことです。当初、逆手塾の故・和田氏、熊原氏、藻谷氏の3人に講演をさせていただく予定でしたが、思いがけず和田氏の追悼記念会に、熊原氏、藻谷氏を含めて酒好きの仲間が集い、響き合う会となりました。  
**栗林** / 40代前半、宴席で、オンリーワンを語ってくれたのが熊原さんでした。たまたまの方に、たった一つの思いをのせる大切さ。その視点が、当法人の毎日三食

## 4

未来のゆうしゃいんに一言お願いします。

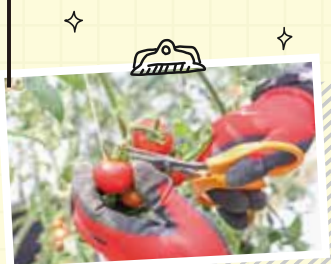
**渡邊** / コロナ禍により多くの困難が予想されます。これまでの治験や経験だけでは、これからの社会福祉実践に対応できません。一方で、気候変動や地殻変動、経済変動が、次世代の暮らしを脅かしています。未来に向けた新しい実践の指針を、優輝福祉会の皆さんが提示してくださることを期待しています。  
**公文** / 優輝福祉会の目指す、共に生きるまちづくり型福祉の更なる発展と、日本の中山間地域への普及には、ひとつづりが基本となります。新見公立大学は、中山間地域の持続可能な未来像の構築を使命のひとつと考え、次の担い手の育成に力を注いでいます。コロナ収束後には、見学実習をはじめ、インターンシップを含めた幅広い連携を深め、学生たちへの実践的教育の充実にご協力ください。  
**栗林** / 熊原さんの逆手に捉える発想は、地域縮小や緊縮財政状況下にあっても、厳しさを楽しさに変えて乗り越えていくものと今後も参考にしたいと思えます。後に続く者のために、間違いない舵取りをお願いします。  
**宮島** / 人口減少、少子高齢化が進む中、今後、楽しくユニークな実践を地域から発信してください。

# 優輝福祉会の取り組み

誰もが輝く街を作ろう!



優輝福祉会では様々な取り組みを実践しています。利用者・働くスタッフの笑顔を守りながら、地域の活性化をも目指して進んでいきます。



## 就労支援



収穫されたトマトは産直市などで販売される他、コージーガーデンで加工・販売、またレストランでトマトを使った料理も提供されています。

### 01 トマト幸場コージーガーデン

三次産ブランドトマト「あかまるこ」の生産・加工・販売すべてをコージーガーデンの利用者である就労継続支援B型の障害者と職員で行っています。



秋には稲刈りも!

### 02 日本財団の補助で実践中!「福六」

福六酒造の酒蔵、旧吉舎郵便局の建物等を改修し、新たなまちづくりの拠点作りをはじめしています。就労継続支援B型事業所の役割として、「福祉」×「商い」をコンセプトに地域活性化へ繋げていこうと考えています。「福六」からはじまるまちづくりにご期待ください。



2021年8月1日に第一回福六蔵出し市—うつわ展示即売会—を開催いたしました。過去30年に渡って寄付された器や骨董品を販売。収益はスタッフとして当日働いた障害者の給与に充てさせていただきます。



## 里山料理くまこめし



優輝福祉会では「くまこめし」をコンセプトに「食べ事」を進めています

### くまこめしとは

「くにとほく まよいきにけり このころは めなれぬさとに しらぬやまやま」

後鳥羽上皇が鎌倉時代に起きた承久の変で幕府の転覆を図り、隠岐に島流しとなった護送中、庄原市総領町に立ち寄られた際、献上された粟ご飯(当時の呼び名:クマご飯)に感動されたそうです。「くまこめし」という言葉はその際に詠まれた和歌に由来しており、「ありふれたもの」が他の場所から来られた人からすると何にも変えがたい「ごちそうになる」という考えを持ち、2015年2月から里山産品を活かす活動として始めました。

### ゆうしゃいんの取り組み

定期的で開催している「くま会議」では、各事業所の担当職員が集まって食の質の向上を目指し、新メニューの募集や新商品の考案など新たな取り組みを検討。また、郷土料理に詳しい地域の方を講師として招き、様々な研修や料理教室も開催。里山の知恵と技の伝承、従来の病院や施設の集団給食のイメージを向上させるべく、法人の栄養・調理部門の職員が中心となって日々模索しています。「食べ事」とは何を食べるかではなく、誰と食べるか、どのように食べるかといった「絆づくり」の手段です。その「絆づくり」を通じて地域における人間関係を深め、生きる喜びや幸福の共有へと繋げていきたいと考えています。



和田和子先生から教わったおせち料理

給食に取り入れ、毎年お正月に利用者に提供しています。



和田和子先生による山菜料理

メニュー：山菜混ぜご飯、イタドリきんぴら、藤の花の酢味噌和え、わらびワイン漬、ごみの白和え、タラの芽の胡麻和え、クレソンのお菜(お浸し)、アザミの煮つけ、わらびの粕汁、クレソンスープ



小林富子先生から教わった郷土料理

メニュー：比婆牛おこわ、ワニの巻き寿司、揚げワニのみぞれ揚げ、雪消し鍋、山芋とろろ汁、大豆の田舎風炒め



山菜料理教室の様子



郷土料理教室の様子

## 働きやすい環境づくり

「優輝福祉会」は、働きやすい職場づくりや人材育成、業務改善、介護サービスの質の向上等、一定の水準を満たして様々な認証を受けています。利用者を中心に職員も働きやすい職場づくりに取り組んでいる優良法人なんです。



### 広島県働き方改革実践企業認定

長時間労働の削減、休暇の取得促進、仕事と育児・介護の両立支援など従業員が働きやすい職場環境づくりに取り組み、働き方改革において様々な成果や効果が出ている企業を「広島県働き方改革実践企業」として、広島県商工会議所連合会及び広島県商工会連合会が認定している制度。



### 広島県仕事と家庭の両立支援企業に認定

次世代育成対策推進法に基づく一般事業主行動計画を策定し、それに基づいて仕事と子育ての両立や仕事と介護の両立など「仕事と家庭の両立支援」に取り組む企業として県に登録されています。



魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま

### プラチナ認証法人認定

「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま」とは、働きやすい職場づくりとサービスの向上に取り組んでいる優良法人を認証する制度。その中でも、広島県の福祉・介護業界のトップランナーに与えられる「プラチナ認証」は、離職率が業界全体平均より約3%低く(13.2%以下)、働き方改革や地域と連携した活動・行事等に取り組んでいる法人に与えられます。



### くるみんマーク認定

「次世代育成支援対策推進法」第13条に基づき、適切な一般事業主行動計画を策定し、その行動計画に定めた目標を達成、一定の基準を満たした企業が「子育てサポート企業」として、厚生労働大臣の認定(くるみん認定)を受けることができます。庄原市では子育てサポート企業第1号となりました。

### staffの体験談

## 移住サポート



### IJU×優輝福祉会

優輝福祉会ではIターン・Uターン・Uターンの就職、転職をサポートしています。里山にはお金に換金できない大切な価値が眠っています。暮らし方・生き方を変える一歩を踏み出しませんか。

延原 大輔さん  
障害者多機能型事業所 里山福祉サービス管理責任者



都会では体験できない働き方や生活スタイルに憧れていたことと、妻の妊娠がきっかけで広島県三次市に移住しました。現在は障害を持った人と一緒に働きながら、楽しむことの大切さを教えてもらっています。私生活では自然の中で4人の子育てに奮闘中です!



## 就職活動時に気になるコト

# 先輩スタッフにインタビューしました!

## 1. 入職3年目の先輩スタッフに生の声を聞いてみました!



稲垣 吏乃 ● いながき りの  
所属/ユーシャイン  
職種/介護福祉士  
職歴/3年目



- Q. 介護職を選んだきっかけは?**  
**A.** 高校生の時に祖母が転倒し、松葉杖を使用しなくてはならなくなってしまったのですが、私自身どう手助けをしたら良いか分からなくて…。その時介護について学びたいと思ったのがきっかけです。また、介護の仕事は今後なくなる仕事であり、なくなるとはいけない仕事であると思っていたことも理由です。
- Q. 仕事のやりがいは何ですか?**  
**A.** 介助に入った時に言ってくれる「ありがとう」など、利用者からの感謝の言葉が一番のやりがいです。あとは直近だと、コロナ禍で家族に会えない分、私にいろいろ相談してくれたりしたこと嬉しかったですね。
- Q. 仕事の大変な部分はどこですか?**  
**A.** 本人に合わせたケアが一番大変です。日によったり時間によって気分や気持ちが変わる方もいるので、それに気づいて対応も変えないといけません。そこに合わせて介助するのが大変というか難しいですね。
- Q. なぜ優輝福祉会に入職しようと思いましたか?**  
**A.** 大学生の時、参加した福祉フェアで、優輝福祉会の方に「施設見学に来ませんか」と言われて、行ってみたらとても良い雰囲気でした。利用者介護士という関係ではなくて、家族のように話をされていて、こういう職場で働きたいと思いました。

- Q. なぜ優輝福祉会に入職しようと思いましたか?**  
**A.** 病院や保健所などいくつかの施設に見学に行きましたが、優輝福祉会は利用者スタッフの距離が近く、そこがよいなと思い入職を決めました。また人事の方が明るかったのも好印象でした。
- Q. 仕事のやりがいは何ですか?**  
**A.** 利用者の声が直接聞けることです。私は利用者とのコミュニケーションを大事にしているのですが、「こうしてほしい」などの要望があれば、できることはないかとすぐに考え実践できるところがやりがいに繋がっています。

- Q. お休みは取れますか?**  
**A.** シフト制でここを休みたいという希望もしっかり出せます。そのため、友人と休みも合わせやすく、休日はよく友達と遊んでいます!
- Q. 仕事の大変な部分はどこですか?**  
**A.** これはいい部分でもあるのですが、職員同士、仲が良く距離が近いので、意見が出しやすく、その意見がぶつかってしまう時があります。そうってしまった時はコミュニケーションをしっかりとして、心底納得できるまで話合っ解決します。



松原 笑里 ● まつばら えみり  
所属/ともいきの里  
職種/管理栄養士  
職歴/3年目



## 2. 1日のスケジュールを聞いてみました!



## 3. これから就職をされる方へメッセージをいただきました!



稲垣 吏乃 さん

介護の仕事は体力がいる仕事ですが、その分達成感を得られ、自分がやったことに対して、ちゃんと返ってくる仕事です。人と関わることが好きな方や、話すことが好きな方はぜひチャレンジしてみてください。年上の方と話したり、昔の話を聞きたい人にもおすすめです。

優輝福祉会の管理栄養士は利用者との距離が近いので、人として優しい心を感じられる仕事です。これは大きな施設ではなかなか感じるこのできないことだと思います。使用する材料や献立、行事イベントなど、どうしたら利用者が笑顔になってくれるかなと毎日ワクワクしながら働くことができます。興味のある方はぜひ一緒に働きましょう!



松原 笑里 さん



設立当時より受け継がれている語録。仕事や人生において勉強になることがいっぱい。迷った時の参考にしてみてもいい？

「あなた」が輝けば私も輝く

私が笑顔で仕事をしていれば、「あなた」からも笑顔が生まれます。みんな笑顔でみんな輝く。

## 「まちのような老人ホーム 老人ホームのようなまち」



熊原さんのキャッチフレーズ。  
自宅を老人ホームの居室。  
ナースコールの代わりに  
緊急通報システムを充実させれば、  
自宅が限りなく老人ホームに  
近くなるのではないかと考える。

## ユーイズム

語録

ミーイズムの反対がユーイズム。  
ミーイズムは、自分の幸福や  
満足のみを追求し、ユーイズムは  
相手の立場で物事を考え、  
相手の幸せを願うこと。



## もっと、ずっと この街が好き

最後はみんな「このまちがいい」  
「住み慣れた家で死にたい」と願っています。  
まると老人ホームのような街であれば、  
地元の住み慣れた家で、ずっと暮らせて、  
もっと街が好きになってもらえるのでは  
ないかと思っています。



## 一日一笑

世のため人のためとって、ニコリともせず  
黙々とやっても続きません。何事も笑顔が大切。

## まあるくなあれ

まちづくりは人づくり→暮らしづくり→価値観づくりへとつながります。  
このまあるい循環が、人生をよりよく生きることに繋がっていきます。

## 笑楽力

しょう がく りょく  
自分の人生を楽しみ、暮らしに笑いを作る力。  
人をも笑わせて楽しませる力のこと。

## ほっ

福祉は何より「ほっ」に尽きます。  
「ほっ」と安心して暮らせるまち、  
そんなお手伝いをしていきたい。

一人ひとりが心から笑顔で過ごし、  
輝く人生になあれ。



## 感心 感謝 感動

福祉の現場は、  
「きつい・汚い・危険」の3Kではなく、  
「感心・感謝・感動」の3Kが学べる場。  
利用者に教えてもらって、  
自分が成長できる職場です。



福祉の仕事をしていると、投げ出したくなることもあります。  
そんな時は、福祉の道に導いてくれた親友の写真を  
この言葉を唱えます。

投げちゃいけない